



平成25年9月23日秋の茶会にお手伝い頂いた方 谷山民子さん、鈴木恵利子さん、加藤みち子さん、住職加藤良光、福井ゆきのさん、白井清子さん

迷う

私達はときどき「迷う」ことがあります。

漢字の「迷う」は「米」と「道」から成り立っています。ここでの「米」は「曖昧」の「昧」と同じ意味で、「はっきりしないこと」を指します。「行くべき道がはっきりしないこと」を「迷う」と言うのです。

仏教では、あの世を「悟りの世界」と言い、この世を「迷いの世界」と言います。

「迷いの世界」の私達は「南無阿弥陀仏」とお称えして、「悟りの世界」である極楽浄土に生まれることを願うのです。

住職の短歌

平成24年に詠んだ短歌の続き(前回[は25年7月号](#))を掲載します。

新たしき年の始まりそれゆえに新たとならむ君とのことも

米原の白き雪原その中に武人の構へ桜木は立つ
墓参り子の日の松のさ緑を故人に捧ぐ君と二人で
下駄箱の上に置きたる門松の竹の青さよ梅の白さよ
千両のひとつひとつの赤き実の我に向かひてきらと微笑む
芹薺七草粥を食す朝君の笑顔に我も応へむ
一月の滋賀の平野の田畑には麦の早苗の緑色あり
艶やかに椿の青葉光る朝机にありて待つはコーヒー
琵琶湖畔比良の山々雪白し刃先の如き峰の頂き
雪山の姿となれり伊吹山堅き心は表れてこそ
米原の駅に雪舞ふ戸惑ひて我に近寄り水滴となる
木曾川の橋を渡れば養老の山また山に雪の装ひ
この町の朝に雪降り雪積もる稀なることは楽しくもあり
花びらのかたち麗しくロックス薄き黄色は乙女の心
車窓より二月の伊勢の田畑見る規則正しき畝の連続
鳥羽の海見ゆる旅館に集ひ来て詠唱教司研修をする
雪被る比良の山々色白し黙することは制することか
伊吹山麓の町は冬景色綿敷き置ける田の原の白
忘れむと思ふ心に行き着けり梅の花咲く春を迎へて
来てみれば菜の花畑春日射す今暫くは君と二人で
窓際のスイートピーに笑みをする君の姿は私の慰め

春の日の橙色の金盞花一輪摘みて君に捧げむ
満作の細長き花咲きにけり君が心を掴まむとして
三月の伊吹の山の朝ぼらけ雪の残りと雲の霞みと
春の日の野道を行けば君恋し風の匂ひも鳥の小声も
ぽつぽつと梅の花咲く春となる君を誘ひて匂ひ尋ねむ
公園の桜の木々の花蕾君よ夢見よ宴の明日を
春彼岸塔婆を書けば逝く人と交はせし言葉思い出す哉
黙々とマーガレットの鉢植ゑに水を足しゆく君や愛しき
早咲きの彼岸桜の花開く嬉し楽しと君の小躍り
英虞湾の真珠筏の海に来て露天の風呂に沈む幸せ
伊勢参り若き男女も歩き行く鍵の言葉はバワースポット
今年また白木蓮の花を見る君乗り降りのバス停の横
雪光る四月初めの富士の山弧線の妙に今日も頷く
暴風の春の嵐のただ中を生きているかと我を問ふ君
校庭の桜の下に君を見る生徒の時の淡き思ひ出
故郷の川の上流桜淵名前綺麗と君は喜ぶ
頂きを雲に奪はれ伊吹山四月の初め雪尚残る
咲き始め東京芝の増上寺御忌法要の列に色和す
増上寺三十年の大会は桜吹雪と詠唱の声
鴨川の川端通り桜咲く母子四人の歩み軽やか

蒲公英の黄色が好きと君は言ふ春の公園ブランコの横
今君は赤紫のストックをガラスの瓶に活けて微笑む
満開の染井吉野を仰ぎ見る色の白さに心浮き立つ
桜花吹雪く春の日知恩院三門巡りて音頭奉納
夜深き新幹線の座席には夫の肩に頭載す妻
豊橋の公会堂に集ひ来て八百年の和讃斉唱
散る桜四条の小橋高瀬川流れとともに花びらは行く
知恩院御忌に詠唱奉納す我も一人の舞人となる
小鈴鳴る満天星躑躅白き花四月の雨に色冴へにけり
沿道の躑躅の花の咲くを見て好きと囁く助手席の人
教科書に発布式典写真あり国家憲法吳越同舟
直線の農道行けば右左田植糸の後の光る水面
麓より緑を統べて伊吹山五月の色もいよよ雄々しき
風薫る五月の滋賀の平野には麦の緑と水面の光
薔薇園の甘き香りに酔ひしれて我に微笑む君ぞ愛しき
元気なき子供の烏塀の上二階屋根より親は見守る
滑空も急旋回も羽ばたきも楽しむでをり六羽の燕
白鷺は早苗を踏まぬ様にして一足ごとを前に押し出す

9月23日、秋彼岸法要の日に檀信徒会館にて秋の茶会を開催しました。華頂婦人会の役員の方が、お運び、お手前をして頂きました。ありがとうございました。



平成25年9月23日秋の茶会で、抹茶を飲まれている檀信徒の皆さん

寺行事案内

土曜礼拝どうらいはい

毎週土曜日午前8時30分～9時

礼拝を含むお勤めです。本家、新家の別なく、どなたでもお参り下さい。

◇内容

1. 浄土日常勤行式
2. 法然上人御法語拝読
3. 住職の法話

◇法然上人御法語の予定

- 後編第31章 還来度生
- 前編第1章 難值得偶
- 前編第2章 立教開宗
- 前編第3章 聖浄二門

月並法要つきなみほうよう

平成25年11月8日(金)午後7時より

月に一度、檀信徒の皆様でお参りする法要です。どなたでもお参り下さい。
法要中、年回忌の祥月にあたる方のご回向もいたします。

◇内容

1. 浄土日常勤行式
2. 一枚起請文拝読
3. 詠唱奉納
4. 住職の法話